

5 健康診断のデータを登録する

5 健康診断のデータを登録する

患者さん1回ごとの健康診断の結果をデータとして登録します。登録する方法は2通りあります。2通りの方法とは「5.1 直接入力による登録方法」と「5.2 レコードのインポートによる登録方法」です。

直接入力は最も基本的な方法で、健康診断データを手動で入力する方法です。

レコードのインポートは電子媒体の健康診断データを一括で入力する方法です。レコードのインポートは大量のデータを一括で素早く処理する事ができますが、FileMaker や Excel 等の十分な知識が必要になります。

5 健康診断のデータを登録する

5.1 直接入力による登録方法

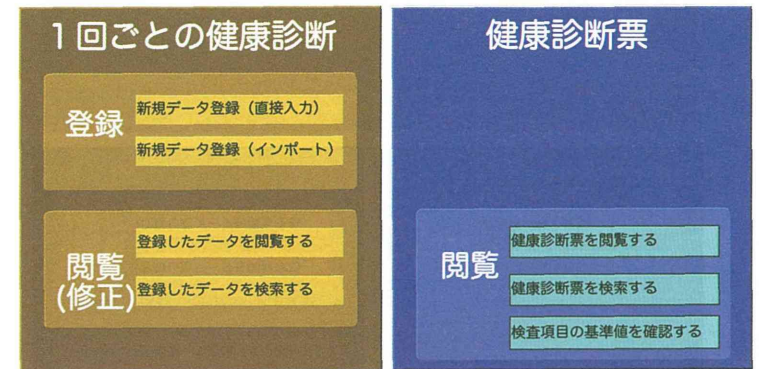
直接入力は1回の健康診断の結果を手動で入力する方法です。

1) 入力画面への移動方法

初期画面の"新規データ登録（直接入力）"を選択すると入力画面へ移動します。

入力画面の操作方法は次ページを参照してください。

データベース管理施設名 ここを編集し、施設名の入力をお願い致します。



初期画面上部

2) 入力画面の操作方法

白枠に項目に対応した値を 14 ページの注意事項に留意して入力します。データ入力完成後、

(1) 作業を続ける場合

作業を続ける場合は **初期画面に戻る** を選択すると初期画面に戻ります。データは自動保存されます。

未記入のまま初期画面に戻った場合、空のデータが登録されてしまいます。

(2) 全作業を終了する場合

ウィンドウを閉じて管理アプリケーションを終了します。データは自動保存されます。また、この際にはファイルのコピーを backup フォルダに作成するかどうか確認メッセージが出現します。

また、入力中（表示中）のデータを削除（破棄）する場合には **このデータを削除する** を選択して下さい。削除したデータは復元できません。削除前に削除を行ってよいかの確認メッセージが出現します。



入力画面

5.2 レコードのインポートによる登録方法

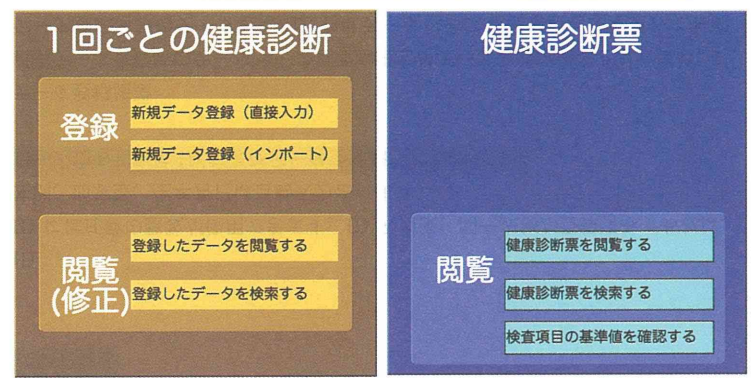
レコードのインポートは多数の健康診断のデータを一括で入力する方法です。ただし、間違えた操作をすると既存のデータを上書きしてしまうので細心の注意が必要になります。

レコードのインポート実行前に、直接入力によるテストや現時点のファイルのコピー作成をする事を強く推奨します。

1) レコードのインポートの実行ウィンドウ表示方法

初期画面のボタンから表示する場合
初期画面の"新規データ登録（インポート）"を選択してください。

データベース管理施設名 **ここを編集し、施設名を入力をお願い致します。**

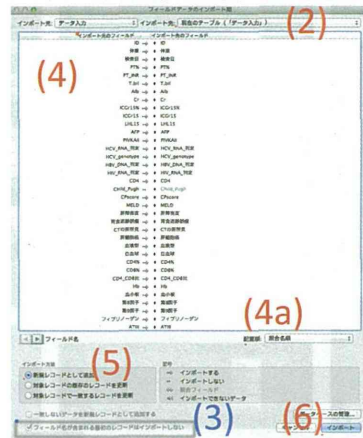


初期画面上部

5 健康診断のデータを登録する

2)インポート実行方法

インポートの実行には「インポート元のファイル選択」、及び、「インポート元とデータベースファイルのフィールド対応」が必要です。手順は次の(1)~(6)になります。



- (1) 前ページで表示したウィンドウからインポート元のファイルを選択する。
(ファイルの種類やそのデータの中身によって(3)の対応が異なります)
- (2) インポート先：“現在のテーブル（「データ入力」）”を選択する。
- (3) フィールド名が含まれる最初のレコードをインポートしないを選択する。
ただし、インポート元のファイルの種類によって対応が異なります。
FileMaker：(3)の選択は上図のように固定されています、(4)に進んで下さい。
Excel.csv：(3)の選択はファイルに依存します。(4)の対応付けを正しく行うために、最初の行にフィールド名があるファイルを推奨します。
- (4) インポート元のフィールドとインポート先のフィールドの名前を一致させます。
- (5) フィールドの対応を変更するにはフィールド名をドラッグ&ドロップします。
- (6) 対応付けの変更が多すぎる場合には(4a)の配置順を適宜変更してみてください。
- (7) フィールドのインポートの有無を変更するには矢印をクリックします。
- (8) インポート元のフィールド名とインポート先のフィールド名が異なっていてもインポートは実行可能ですが、間違いの原因になるので注意が必要です。
- (9) インポート方法：“新規レコードとして追加”を選択する。
- (10) インポート実行する。

5 健康診断のデータを登録する

5.3 直接入力・インポートでの注意点

1) 全般

- 接頭辞(k(キロ), μ(マイク))や単位の整合性にご注意下さい。
- 赤血球や血小板は特に単位に注意してください(10⁴/μl)。
- 入力文字が長過ぎて見切れている場合でも、データは正しく格納されます。
- 自動計算され、手動で入力できないフィールドには色がついています。
- この管理アプリケーションは保存ボタンが存在せず、リアルタイムで自動保存されています。

2) 項目

(1) ID

ID には任意の整数が使用できます。ID 入力後、同一人物が登録済みであれば、性別、血液型、生年月日は自動入力されます。

同一人物の判定は ID およびデータ登録施設で行われます。

(2) データ登録施設

新規データ登録時のデータベース管理施設名がデータ登録施設名となります。尚、データ登録済みのデータ登録施設名はデータベース管理施設名を変更しても変更されません。

(3) 生年月日、検査日

年月日のフォーマットは「yyyy/mm/dd」になります

例：1951/03/12

(4) 年齢

生年月日と検査日から自動計算されます。

(5) BMI

身長と体重から自動計算されます。

5 健康診断のデータを登録する

(6) CPscore

ラジオボタン 計算(PT%使用) 計算(PT-INR使用) を選択すると計算できます。
 ラジオボタンで PT%と PT-INR のどちらを計算に使用するか選択できます。
 CPscore は下記テーブルの各項目の点数の総和で算出されます。
 CPscore の関連項目(T.bil、Alb、PT%、PT-INR、腹水、肝性脳症)を変更した場合は再度計算ボタンを選択する必要が有ります。

項目	1 点	2 点	3 点
肝性脳症	無い	Grade I-II(軽度)	Grade III-IV(時々昏睡)
腹水	無い	軽度	中程度以上
T.bil (mg/dl)	2.0 未満	2.0-3.0	3.0 超
Alb (g/dl)	3.5 超	2.8-3.5	2.8 未満
PT%	70 超	40-70	40 未満
PT-INR	1.7 未満	1.7-2.0	2.0 超

注：PT%と PT-INR はどちらか片方を選択します。

(7) Child-Pugh

CPscore から自動計算されます。
 Grade A: 5-6 点
 Grade B: 7-9 点
 Grade C: 10-15 点

(8) MELD

計算ボタン を選択すると計算できます。1 週間以内に 2 回透析している患者の場合は横にあるチェック 1週間以内に2回透析した を選択した後に計算ボタンを選択してください。

MELD の関連項目 (T.bil、PT-INR、Cr) を変更した場合は再度計算ボタンを選択する必要があります。

$$\text{MELD} = 9.57 * \log(\text{Cr}) + 3.78 * \log(\text{T.bil}) + 11.2 * \log(\text{PT-INR})$$

注 1：Cr、T.bil、PT-INR の下限は 1.0 とする

注 2：1 週間以内に 2 回透析している場合は Cr を 4.0 とする

5 健康診断のデータを登録する

(9) 肝障害度

計算ボタン を選択すると計算できます。
 肝障害度は次の 5 つの項目を A、B、C で判定で分類し、分類した個数が 2 個以上該当した判定を採用する。
 2 個以上該当した判定が 2 つある場合は優先順位を C>B>A とする。
 肝障害度の関連項目(腹水、T.bil、Alb、PT%、ICGR15)を変更した場合は再度計算ボタンを選択する必要が有ります。

項目	A	B	C
腹水	無い	軽度	中程度以上
T.bil (mg/dl)	2.0 未満	2.0-3.0	3.0 超
Alb (g/dl)	3.5 超	3.0-3.5	3.0 未満
PT%	80 超	50-80	50 未満
ICGR15	15 未満	15-40	40 超

6 健康診断のデータを閲覧・検索する

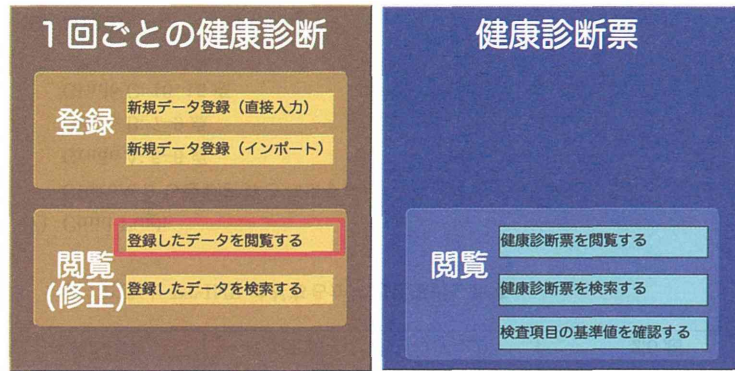
6 健康診断のデータを閲覧・検索する

6.1 データを閲覧する

1) 閲覧画面への移動方法

閲覧画面へ移動するには初期画面の"登録したデータを閲覧する"を選択してください。閲覧画面の操作方法は次ページを参照して下さい。

データベース管理施設名 ここを編集し、施設名の入力をお願い致します。



初期画面上部

6 健康診断のデータを閲覧・検索する

2) 閲覧画面の操作方法

閲覧画面ではデータの編集はできません。

閲覧中に誤ってデータを変更してしまう恐れはありません。

(1) 閲覧する対象データの変更する場合

1つ前のデータを閲覧するには を選択します。

1つ次のデータを閲覧するには を選択します。

(2) 閲覧する対象データの順番を変更する場合

全データをID・検査日順にソートするには を選択します。

(3) 閲覧するデータの表示方法を変更する場合

データを1つごとに表示するには を選択します。

データを表形式で表示するには を選択します。

(4) 健康診断票を閲覧する場合

現在表示している患者の健康診断票を閲覧するには を選択します。健康診断票の見方については24ページの8.2健康診断票の見方を参照して下さい。

(5) 閲覧を終了し、別の作業を開始する場合

閲覧を終了し、引き続き別の作業を開始するためには を選択して初期画面に戻ります。

(6) 閲覧を終了し、全作業を終了する場合

ウィンドウをそのまま閉じて下さい。



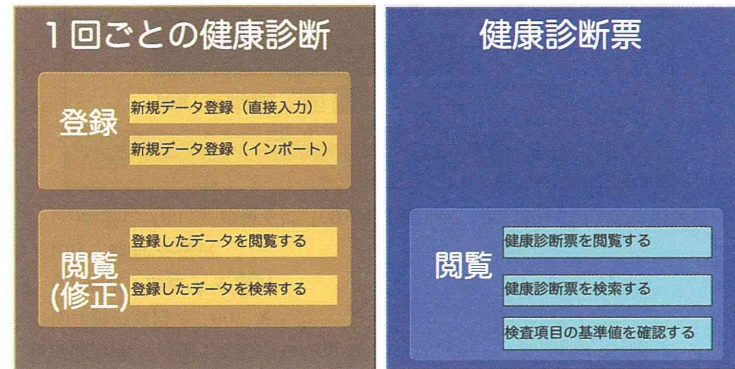
閲覧画面 (上部のみ)

6.2 データを検索する

1) 検索画面への移動方法

検索画面へ移動するには初期画面の"登録したデータを検索する"を選択して下さい。
検索画面の操作方法は次ページを参照して下さい。

データベース管理施設名 ここを編集し、施設名の入力をお願い致します。



初期画面上部

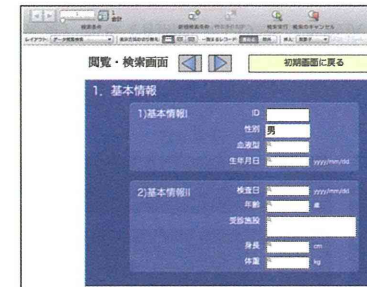
2) 検索画面の操作方法

検索画面では FileMaker で通常検索に使用されるメニューを使用します。
検索を実行すると閲覧画面に移動します。

全角・半角、大文字・小文字の区別はありません (ファイルメーカーのデフォルトと同じ)。

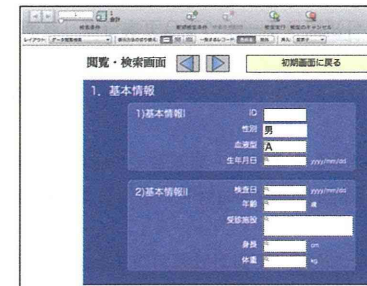
(1) 基本検索 (例: 性別が男)

- (i) 性別の項目で「男」を選択
- (ii) "検索実行"を選択



(2) and 検索 (例: 性別が男 かつ 血液型が A 型)

- (i) 性別の項目で「男」を選択
- (ii) 血液型に「A」を入力
- (iii) "検索実行"を選択



6 健康診断のデータを閲覧・検索する

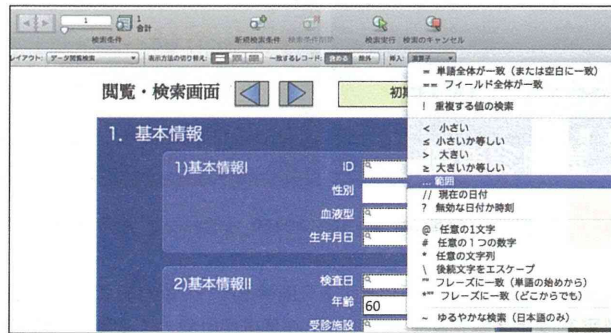
(3)or 検索 (例：性別が男 もしくは 血液型が A 型)

- (i)性別の項目で「男」を選択
- (ii)"新規検索条件"を選択 (「男」は消え白紙の検索画面に戻ります)
- (iii)血液型に「A」を入力し"検索実行"を選択



(4)範囲検索 (例：年齢が60~69歳)

- (i)年齢の項目で「60」を入力
- (ii)"挿入：演算子"を選択
- (iii)"...範囲"を選択
- (iv)年齢に「60...」の後ろに「69」を追記して「60...69」にして"検索実行"を選択



7 健康診断のデータを修正・削除する

7 健康診断のデータを修正・削除する

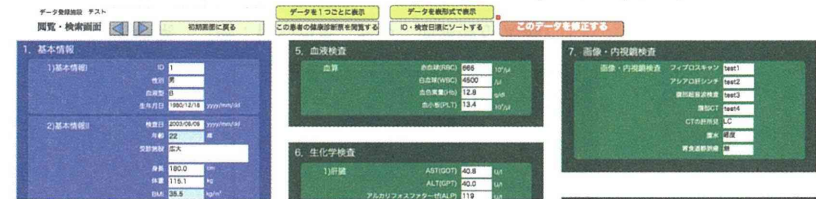
健康診断のデータを修正・削除するには最初に修正・削除する対象のデータを選択する必要があります。

修正・削除するデータを選択するためには初期画面の「閲覧」を使用します。「閲覧」の方法は17ページの6健康診断のデータを閲覧・検索するを参照して下さい。

7.1 データを修正する

修正手順は次の(1)~(3)です

- (1) 初期画面の「閲覧」から修正したいデータを選択します。
- (2) データを選択し **このデータを修正する** を選択すると、修正画面（入力画面）に移動します。修正画面の操作方法是入力画面の操作方法和同じです。12ページの5.2レコードのインポートによる登録方法を参照して下さい。



閲覧画面(上部のみ)

7.2 データを削除する

削除手順は次の(1)~(3)です。

- (1) 初期画面の「閲覧」からで削除したいデータを選択します。
- (2) データを選択し **このデータを削除する** を選択すると、修正画面に移動します。
- (3) 修正画面にある **このデータを削除する** を選択すると表示中のデータを削除します。**削除したデータは復元できません**。削除前に削除を行ってよいかの確認メッセージが出現します。



修正画面(入力画面)

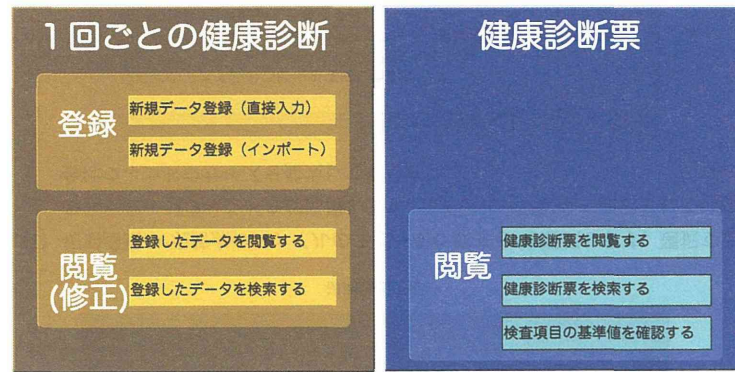
8 健康診断票を閲覧する

8.1 閲覧方法

1) 閲覧画面への移動方法

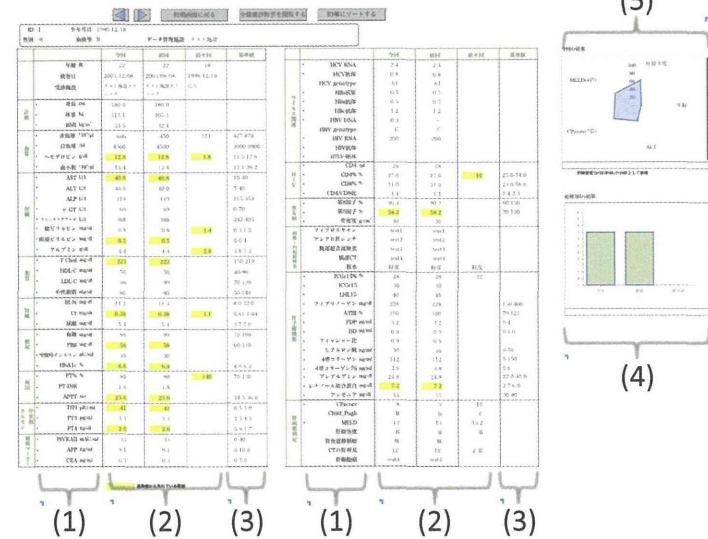
健康診断票の閲覧画面に移動するには初期画面の"健康診断票を閲覧する"を選択して下さい。閲覧画面の操作方法は次ページを参照して下さい。

データベース管理施設名 ここを編集し、施設名の入力をお願い致します。



初期画面上部

8.2 健康診断票の見方



(1) 項目名

(2) 近傍3回分の健康診断の結果

黄色のハイライトは(3)の基準値から外れている事を示します。

(3) 基準値

基準値は性別で異なる値が設定されています。

基準値に使用された測定法は基準値レイアウトで確認できます。

(4) 近傍3回分の身長の変化

項目名の左に"・"の記号があるものについては棒グラフの表示が可能です。

対象の項目のグラフを表示するには(1)項目名を選択して下さい。

(5) 今回の結果概要

今回の結果判定をレーダーチャートで表示します。

9 データベースのバックアップについて

9 データベースのバックアップについて

バックアップファイルの作成、バックアップファイルの読み込みは管理アプリケーションで行います。

9.1 バックアップファイルを作成する

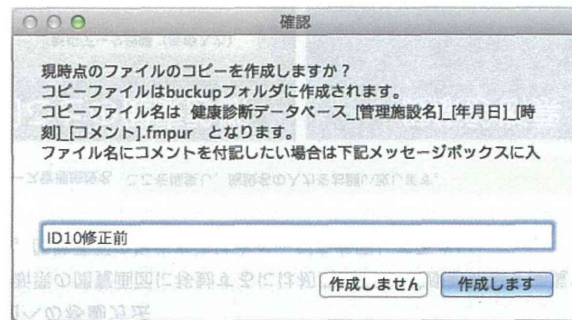
バックアップとしてファイルのコピーを作成します。ファイルのコピーは初期画面から行う事ができます。また、管理アプリケーション終了時にもコピーが可能です。

1) 初期画面からファイルのコピーを作成する



初期画面下部

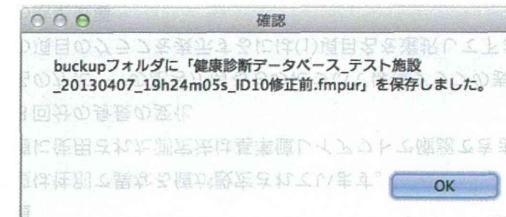
- (1) 初期画面の"現時点のファイルのコピーを作成する"を選択します。選択すると次のメッセージウィンドウが出現します。(メッセージが全て表示されていない場合はウィンドウサイズを拡大してください。)



バックアップファイル作成確認メッセージ (例ではコメント欄に「ID10 修正前」と入力していますが、コメント欄は空白でもかまいません。)

9 データベースのバックアップについて

- (2) "作成します"を選択すると次の確認メッセージが出現します。

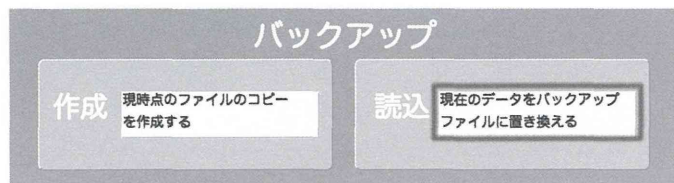


- (3) "OK"を選択するとバックアップは完了です。

バックアップしたコピーファイルの名前は下記のようになります。

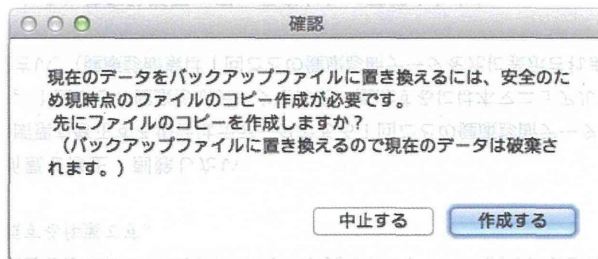
健康診断データベース_「データベース管理施設名」_「年月日」_「時刻」_「コメント」.fmpur

9.2 バックアップファイルを読み込む



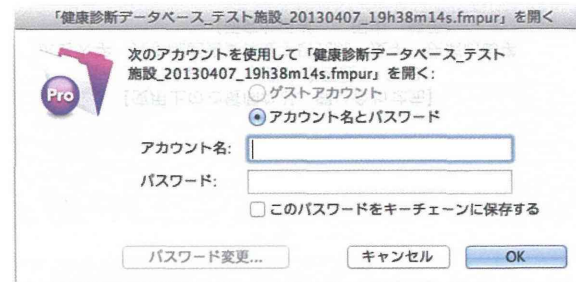
初期画面下部

- (1) バックアップファイルを読み込むには初期画面下部の"現在のデータをバックアップファイルに置き換える"を選択します。選択すると次のメッセージが出現します。

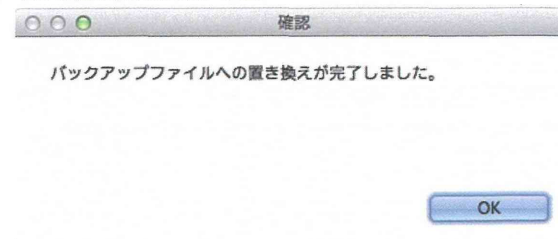


- (2) "作成する"を選択するとバックアップ作成が開始されます。バックアップ作成に関しては9.1 バックアップファイルを作成するを参照して下さい。ファイルのコピーを作成しない場合はファイルの置き換えは実行できません。

- (3) バックアップファイルを作成したら、置き換えるバックアップファイルを選択します。ファイルを置き換えるにはそのファイルのアカウントとパスワードの入力が必要です。



- (4) バックアップファイルの読み込みに成功すると次のメッセージがでます。バックアップファイルの置き換えは完了です。



10Q&A

10 Q&A

1)データを誤って削除してしまった、復元したい

FileMaker の仕様上、削除したデータを復元することは不可能です。頻繁にバックアップを取ることをお勧めします。

2)一度インポートした元ファイルを修正したので再インポートして修正したい
初期画面の新規データ登録（インポート）から可能です。

- (1) 12 ページの 5.2 レコードのインポートによる登録方法を参照し、インポート方法で"対象レコードで一致するレコードを更新"を選択してください。
- (2) 照合フィールドを選択してください。照合フィールドは1つでなく複数を用いると安全です。矢印をクリックする照合フィールドを選択する事ができます。
*照合とはインポート元とインポート先のデータベース間で、対応するデータを認識する作業です。

3)健康診断票を修正・削除したい

健康診断票を修正する場合は元データである1回ごとの健康診断データを修正・削除します。1回ごとの健康診断データを修正・削除するには本マニュアルの7章を参照して下さい。(健康診断票は1回ごとの健康診断データを元に表示されます。)

4)同じ ID なのに健康診断票で同一患者として認識されない

データ登録施設名が異なるためです。同一患者の認識は ID が同じである事、かつ、データ登録施設名が同じである事としています。

10Q&A

5)初期画面のボタンが正常に動作しない

お使いの PC の環境に依存する事が考えられます。下記連絡先までお問い合わせ下さい。

【使用上のご質問など、問い合わせ先】

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3
広島大学 大学院医歯薬保健学研究院 疫学・疾病制御学
(研究分担者 田中 純子)

TEL : 082-257-5162 担当 : 大久 真幸
E-mail : eidcp@hiroshima-u.ac.jp

